

はじめに

1 かながわ新総合計画21策定の趣旨

神奈川県政を取り巻く社会経済情勢は、人口構造の少子化や高齢化が進む中で、経済・文化・社会におけるグローバル化の拡大、県民のライフスタイルの変化や21世紀の社会に向けた志向の多様化など、様々な面で大きく変化しています。

21世紀の初頭には、神奈川の人口は減少局面へと転じ、経済の成長も緩やかな成長となることが予測されるなど、かつて経験したことのない成熟した社会を迎えることとなります。

こうした中で、これまで成長を支えてきた社会経済システムに変化の兆しが見え、地方分権や規制緩和への取組みをきっかけとして、成熟社会に向けた新しい社会の仕組みづくりが求められています。

このことから、21世紀を展望し「変化への挑戦」を基本に据え、新しい政策課題や時代ニーズに対応するため、県政運営の総合的指針として、1997年1月に、「かながわ新総合計画21」が策定されました。

2 計画の構成と期間

この計画は、21世紀初頭(2015年度)を展望し、神奈川の将来像と進むべき方向、地域形成の方向などを「将来展望」としてまとめています。

また、1997年度を初年度として、概ね10か年間(1997~2006年度)に実施する施策の目標と内容を、全県計画の「実行計画」として明らかにするとともに、地区行政センター等の8つの区域を単位として「地区実行計画」をまとめています。

また、21世紀に向け、神奈川の将来を展望したときに、今から取り組み備えておく必要のある重要な課題を、5つの県土構想と8つの重点政策課題としてまとめています。また、これらの重要な課題に対応して、5か年間に重点的かつ総合的に取り組むべき施策群を重点プロジェクトとして設定し、1997年度から優先的に取り組んできました。

3 定期的な計画見直しのしくみ(ローリングシステム)

この計画を実行するにあたっては、実行性の確保と、県民ニーズに的確に対応するため、財政収支の見通しを立てるとともに、計画に位置づけた施策の重点的、柔軟な推進を図ることとしています。また、計画の進行状況を把握し、明らかにするため、毎年度、「かながわ新総合計画21進行台帳」を作成し、公表をしています。

さらに、社会経済状況の変化に柔軟に対応するため、定期的な計画の見直しのしくみ(ローリングシステム)を導入し、概ね3年ごとに、政策環境の変化と計画に盛られた事業等について点検を行い、必要な計画の見直しを行うこととしています。

4 今回の事業計画等の見直し(ローリング)の考え方

1999年度で計画がスタートしてから3年度目を迎え、最初の見直しを実施することになりました。見直しに先立って実施した点検の結果、少子・高齢化の進展や地球規模での環境問題の拡大など、この計画で見通した中長期的な時代の変化は策定時と基本的に変わらないと思われまますので、計画の中で示している神奈川の将来像や政策の基本的な方向、また、特に重要な課題として設定した「5つの県土構想」と「8つの重点政策課題」については、基本的に継続し、引き続きこの計画を推進していくこととしました。

しかし、この間、ダイオキシン問題、介護保険制度など、県として新たに対応が必要な政策課題も生じています。また、2001年に開催が予定されている「ロボフェスタ(ロボット創造国際競技大会)神奈川2001」をはじめとする、21世紀を明るく夢をもって迎えるイベントや地域での新たな取組みなども、計画に位置づける必要が生じていました。

また、計画では、1997年度から2001年度までの5か年間については、実質2%程度の経済成長のもとで県税収入が伸びることを想定していましたが、その後の厳しい経済状況のもとで、実質県内経済成長率は、1997年度がマイナス3.7%、1998年度はマイナス1.7%(速報値)という状況になっています。そのため、計画策定時に明らかにした県の収入の見通しは、県税収入を中心に、実際の収入と大きく乖離してしまい、事業計画の計画額の確保は極めて厳しくなっており、今後もこうした状況はしばらくは続くものと思われまます。

そこで、厳しい財政状況のもとにおいても、県として取り組むべき施策は引き続き着実に推進するとともに

に、新たな政策課題への対応や優先的な取組みを明らかにするため、今回の事業計画等の見直し（ローリング）は、次のように実施しました。

- ①2001年度までの5年間を計画の目標年次としていた事業計画は、現在の厳しい財政状況により実現が難しくなっていることから、目標年次を1年延長し2002年度としました。
- ②新たな政策課題への対応や優先的な取組みを明確にするため、重点プロジェクトを改訂し、2000年度から2002年度までの3年間の施策の重点的な取組み等を明らかにしました。
- ③新たな法令の制定や計画策定後の社会環境の変化によって、新たに取組み必要がある重要度の高い事業のうち、重点プロジェクトへの位置づけが難しいものについては、例外的に主要施策に構成事業として追加しました。
- ④地区実行計画については、地域の動向等を踏まえ、「特色ある地域づくり」のために位置づけられた地域プロジェクトを改訂しました。
- ⑤県民生活に密接に結びついたまちづくりの事業について、重点プロジェクトとは別に今後3年間の取組みの概要を明らかにしました。

計画の構成と記画書の記載内容

注) 表中の①～⑤は上記の数字に対応します。

構 成	内 容	目 標 年 次 (見直し前の目標年次)	計 画 書	
かながわ新 総合計画21 (新総21) (1997年1月 策定)	【将来展望】	神奈川の将来像と政策の基本方向	「かながわ新総合計画21」 (1997年3月発行)	
	【実行計画】	7つの政策分野ごとの施策の方向と主要施策		
	事業計画	主要施策の構成事業の目標と内容	1997～2002年度 ① (1997～2001年度)	第4章 まちづくりの事業 ⑤
	主要施策に新たに追加した構成事業の目標と内容 ③	2000～2002年度 (—)	第3章 主要施策	
改訂・かな がわ新総合 計画21 (改訂・新総21) (2000年2月 改訂)	重点プロジェクト ②	5つの県土構想・8つの重点政策課題に対応して、重点的・総合的に優先して取り組むべき施策群	2000～2002年度 (1997～2001年度)	第1章 重点プロジェクト
	【地区実行計画】	地区ごとの将来像とその実現に向けた地域プロジェクト	2000～2006年度 (1997～2006年度)	第2章 地域プロジェクト
	地域プロジェクト ④	特色ある地域づくりのための事業		

「かながわ新総合計画21 改訂重点プロジェクト・改訂地域プロジェクト」
(2000年3月発行)

この改訂計画書「かながわ新総合計画21 改訂重点プロジェクト・改訂地域プロジェクト」は、1997年3月発行の計画書「かながわ新総合計画21」の内容を補完しています。今回の事業計画等の見直し（ローリング）で内容に変更のない将来展望や新たな構成事業を追加しない主要施策については、「かながわ新総合計画21」をご覧ください。なお、参考までに、巻末の付属資料3に主要施策一覧を掲載しています。

また、計画事業の進行状況については、「かながわ新総合計画21進行台帳」としてインターネット等により毎年度公表していますが、今後もすべての計画事業について明らかにしていきます。

